

平成23年度 山口大学FD全学講演会

メインテーマ：

「目標達成型大学教育改善プログラムと山口大学の教育改革」

主旨：

平成20年度に文部科学省の「質の高い大学教育推進プログラム」、いわゆる教育GPに採択された「目標達成型大学教育改善プログラム」は昨年度で終了しました。しかし、この事業で取り組んできた目標達成型教育改善方法は「スタンダード」な教育改善の手法として今や全国の大学において導入され定着しつつあります。しかし、財政補助期間が終了したからと言ってこの取組が終了するわけではなく、今後、さらに深化・発展させていかなければならないことは言うまでもないことです。そこで、今回のFD全学講演会は、昨年度の九州工業大学に引き続き、本学と同様に学生の卒業時点での到達目標を明確に規定するとともに、学生自身の達成度評価による学修意識改革に全学的規模で取り組んでいる佐賀大学の滝澤登教授を招聘し、「学習ポートフォリオ」の導入を通して、学生の自己管理能力と学修意識を高める取組を具体的にどのように取り組んで来たのかについて講演をしていただく予定です。本学が今後取り組まなければならない重要な事柄であるため、ぜひ多数の先生方の参加をお願いしたいと考えています。

講演テーマ：ポートフォリオを活用した統合的修学支援：佐賀大学における取り組み

講師：滝澤 登 佐賀大学大学院工学系研究科教授（高等教育開発センター教授 兼任）
佐賀大学 大学教育委員会・ポートフォリオ専門委員長

主催：大学教育機構（共催：大学コンソーシアムやまぐち）

日程：平成23年8月10日（水）13:30～15:00（受付 13:00より）

場所：共通教育メディア講義室

遠隔講義システムを利用して常盤地区および小串地区でも同時開催します。

また、講演会の様子はストリーミング配信も併せて実施します。

参加対象者：本学の教職員および県内他大学の教職員

講演の概要：

近年地方大学においては、急激な少子化による大学生の学習能力や修学意欲の低下が大きな問題となっています。一方、国立大学法人化以降、大学評価や中教審答申などを通して、大学の教育への組織的取組みの強化が求められ続けています。佐賀大学では、高等教育開発センターが中心となって、高等教育の改善に努めてきましたが、今年度より「ポートフォリオ学習支援統合システム」を全学的に導入して、①学生の自省をともなった修学意欲の改善と学習への取組み強化、②それらを支援するチューター制度の充実、③学士力の達成度評価、④教員の教育改善につなげるティーチングポートフォリオへの統合的な取組みを開始しました。そこで今回の講演会では、ポートフォリオの意義や導入背景、全学的導入への取組み、「ポートフォリオ学習支援統合システム」の仕様・機能などについて紹介致します。

(講師略歴)

氏名：滝澤 登（たきさわ のぼる）佐賀大学大学院工学系研究科 教授

専門分野：溶液の物理化学、コロイドナノハイブリッドの物理化学

主な研究内容は以下のとおりである。

- 1) 高圧力下での溶液物理化学
- 2) 両親媒性薬剤-疎水性場ナノハイブリッド相互作用の研究
- 3) 界面活性剤-高分子ナノハイブリッド相互作用における協同性的研究

学歴：

昭和52年3月 埼玉大学工学部科学科 卒業
昭和54年3月 京都大学大学院理学研究科修士課程化学専攻 修了
昭和57年3月 京都大学大学院理学研究科博士後期課程化学専攻 単位修得退学
昭和58年3月 京都大学理学博士 取得 博士論文題目「低温・過冷却水中でのテトラアルキルアンモニウム塩の電導輸送機構の研究」

職歴：

昭和57年4月 京都大学研修員
昭和57年12月 佐賀大学工学部助手
昭和61年4月 連合王国 Salford 大学研究員
平成19年4月 佐賀大学工学部准教授
平成21年8月 佐賀大学工学部教授
平成22年4月 佐賀大学大学院工学系研究科教授
平成22年4月 佐賀大学高等教育開発センター教授兼任、現在に至る

学会および社会における活動：

所属学会：日本化学会，日本油化学会，日本高分子学会，アメリカ化学会
その他の活動：日本油化学会誌(J. O. S)編集委員，佐賀県理科・化学教育懇談会幹事

主な著書・論文等：

(著書)

B-1. Y. Eda, N. Takisawa, K. Shirahama Amphiphilic Gas Sensors based on Polymer-coated Piezoelectric Crystal. "Polymeric Materials Encyclopedia Vol. 1, CRC Press, New York, pp223-227 (1996) その他著書2冊

(最近発表された主な学術論文)

1. Y. Muroi, J. Kurawaki, K. Hayakawa, N. Takisawa, T. Miyajima Fluorescence spectroscopy of fulvic acids' interaction with surfactants. Colloid Polym. Sci., 2009, 287, 57-62.
2. M. Matsuda, A. Kaminaga, K. Hayakawa, N. Takisawa, T. Miyajima Surfactant binding by humic acids in the presence of divalent metal salts. Colloid Surf. A, 2009, 347, 45-49.
その他、学術論文(審査付) 46編、国際会議発表 3編、解説、報告 1編

(講演会当日の日程)

13:00~13:30 受付
13:30~13:40 挨拶(吉田一成 理事兼副学長、教育機構長)
13:40~13:45 講師紹介(中田充 大学教育センター主事(教育学部准教授))
13:45~14:45 講演会
14:45~14:55 質疑応答
14:55~15:00 閉会(岩部浩三 大学教育センター長)
マネジメント：小川 勤(大学教育センター 内線5085)

～ 全学FD講演会への参加申し込み方法 ～

①所属部局②氏名③職名④会場(吉田, 常盤, 小串の別)をご記入の上, 下記までメールでお申し込みください。

【申込先】教育支援課教育企画係

Email : ga115@yamaguchi-u.ac.jp (メール) 内線 5150

※資料準備の都合上, 8月5日(金)までにお申し込みください。なお, 当日参加も可能です。

(お願い) 他のFD研修会への参加申込みとの混同を避けるため, メールタイトルを必ず「**8月10日開催全学FD講演会 参加申込み**」としてください。